

## 【運営会議議事録】

NPO法人 アンビシャス コーポレーション

1 開催日時 平成 25年 11月 3日 10時00分から 13時00分まで

2 開催場所 兵庫県姫路市庄田34番地10 3F

3 会員総数 15名

4 出席者数 6名

### 5 審議事項

第1号議案 情報交換、活動報告、現状報告等

第2号議案 ひめじおん(市民活動ボランティアサポートセンター)交流会とひめじおんまつりの参加について

第3号議案 2014年度目標設定案

第4号議案 NPO法人について(NPOとはボランティアとNPO法人)

### 6 議事の経過の概要及び議決の結果

① 定刻に至り、理事長山本哲司氏が開会を宣した。

② 議長の選任について諮ったところ、山本氏を選任した。

続いて、議事録署名人について、後藤氏と高野氏の二名が選任され、いずれも異議なく承認された。

第1号議案 情報交換、活動報告、現状報告等

他の交流の場や会合に参加した際に、当法人の思いや活動を熱く語れるか自己紹介の練習を行なった。

ネットワーク交流会についての現状報告や、ネットワークづくりの重要性について意見を述べた。

現在行われている、ネットワーク交流会を定例化し、毎月第四土曜19:00～開催と決定した。また、他の活動等に支障が起こりうる場合は、その月のネットワーク交流会は行わないのもとする。満場一致をもって異議なく可決決定した。

三左衛門外堀川クリーン作戦について、今後の課題についてと他地域にも普及、伝達していくよう意見を述べた。

地域相談窓口を活発に告知し、健全で安全なまちづくりに寄与していく為、意見を述べた。

ネットワークづくりの新年会を行なう予定でしたが、会場確保の関係上にて開催を中止するか否かを議論した。

開催日が1月4日(土)の予定でしたが、中止ではなく1月12日(日)に変更し開催する旨の意見があがつた。

その承認を求めたところ、満場一致をもって異議なく可決決定した。

第2号議案 ひめじおん(市民活動ボランティアサポートセンター)交流会とひめじおんまつりの参加について

来年度2月23日(日)のひめじおんまつり参加の旨を述べた。参加目的は、当法人の活動発表を目的とする。

具体的には、市民に対しての認知度アップと連帯性の強化、サポーターの増加などがあげられる。

その承認を求めたところ、満場一致をもって異議なく可決決定した。

12月11日(水)のひめじおん交流会参加について諮った。テーマは、美しい姫路のまちについて語ろう。

(環境保全やまちの美化活動などについてのことなので、理事長が当法人の活動発表の為、参加するとの意見があがつた。理事長はその旨を承諾した。

「エクセレントNPO」を引用し、優秀なNPO法人としてあるべき姿を考え、当法人の向上について議論した。

「エクセレントNPO」の3つの基本条件 「市民性」「社会変革性」「組織安定性」

第1の課題は、NPOと市民とのつながりが希薄になっているという点です。

第2の課題は、本来、NPOやNGOに求められた課題の解決力に疑問があることです。

第3の課題は、活動や組織を持続可能なものにどう築いてゆくかという点です。

### 「市民性」

- ① ボランティアの機会が人々に開かれ、その活動内容はわかりやすく伝えられていますか。
- ② ボランティアに対して感謝の気持ちを伝える工夫をしていますか。
- ③ 寄付者を単なる資金提供者としてではなく、あなたの組織の参加者として認識していますか。
- ④ 寄付者へ感謝の気持ちを伝えるための工夫をしていますか。

### 「社会変革性」

- ⑤ あなたの組織は取り組んでいる問題やテーマを把握し、明確に理解していますか。
- ⑥ あなたの組織は取り組む課題の背後にある原因や理由を見出そうとする姿勢や視点を持っていますか。
- ⑦ あなたの組織は取り組む課題のみならず、それに影響している制度や慣習など、社会の仕組みにかかわる問題解決も視野に入れていますか。
- ⑧ あなたの組織は、事業を予定とおり実施したことだけでなく、事業の対象(人および自然環境などの人以外のものも含む)へのプラスの影響や変化を成果として目指していますか。
- ⑨ 中長期の視点から課題解決に取り組むための考え方を持っていますか。
- ⑩ リーダー役を担う者は、課題解決のために中心的な役割を担い、また組織内外の専門家、資金などの資源を組み合わせ、それらをうまく機能させるためにコーディネーション力を発揮していますか。
- ⑪ あなたの組織が取り組む課題、使命や目標を広く社会に理解してもらうよう努めていますか。

### 「組織安定性」

- ⑫ 組織の独立性、中立性を維持していますか。(これは政府、自治体、企業、寄付者、他団体などとの関係を否定するものではありません。むしろ、こうした主体との協力や議論が大事だからこそ、自らの立ち位置の中立性や独立性が確保されていることが肝要であるという意味です。)
- ⑬ 組織の使命は明確に示されていますか。
- ⑭ 組織の全体像が明確に説明されていますか。
- ⑮ 広く多様な主体から資金を集め、特定の資金源に過度に依存するリスクを回避できるように収入多様性を維持していますか。
- ⑯ 資金調達のプロセスは透明で、公序良俗に反する行為による資金は受け取っていませんか。

以上を当法人に照らし合わせ、以下の4つの事項を目標設定とし、満場一致をもって異議なく可決決定した。

- ① NPO法人や市民団体、また異業種での連帯性・創造性・自発性がある人とのネットワークづくり。
- ② 行政に対しての認知度アップと連帯性の強化。(活動実績の持続性と積み重ね)
- ③ 市民に対しての認知度アップと連帯性の強化。(会員・サポーター・協賛等)
- ④ 収益事業の構築での組織力と、社会課題の解決力の強化。

第4号議案 NPO法人について(NPOとはボランティアとNPO法人)

NPO、ボランティア、NPO法人、と混同されがちな点と、今後の活動の発展、市民にひらけた活動を行なう為、今一度NPO法人について勉強した。

パワーポイントにて作成した資料と、NPO法人の手引をもとに、理事長より説明を行った。

議長は、以上をもって、NPO法人アンビシャス コーポレーションの運営会議の閉会を宣した。

以上の議事の要領および結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は  
次に署名・押印または記名・押印する。

NPO法人アンビシャスコーポレーション

議長 山本 哲司

議事録署名人 後藤 和明

議事録署名人 高野 光治